

Lesson 2 カレーは世界を旅する

(Part 1)

みなさん、こんにちは！今日はカレーについてお話ししたいと思います。「カレー」という言葉を聞いたとき、みなさんはどの国を思い浮かべますか？そう、インドです！みなさんの多くはインドがカレーの発祥地であることを知っています。しかし、インドではカレーが料理の名前でないことを知っていますか？

もちろん、カレーによく似た料理はインドにたくさんあります。例えば、人々はよく肉や野菜をさまざまなスパイスと一緒にとろ火で煮込みます。しかし、彼らはそのような料理を「カレー」と呼びません。大昔に、イギリス人がそのようなインド料理を説明するために「カレー」という言葉を使い始めました。それは「カリ」という言葉に由来します。この言葉はタミル語でソースやスープを意味します。

(Part 2)

昔、インドはイギリスの植民地でした。みなさんは世界史の授業でそのことについて習ったと思います。1772年、東インド会社の事務員であったウォレン・ヘイスティングズがインドから米と多数のスパイスを持ち帰りました。彼はインドでカレーを米と一緒によく食べていたので、イギリスでもそれを食べたいと思いました。イギリスの他の人たちもそれを食べてみて気に入りました。その後、カレーは徐々にイギリスで人気が出ました。

19世紀の初めに、最初のカレー粉が現れました。その時までは、カレーを作るために多数のスパイスを苦勞して混ぜ合わせる必要がありました。カレー粉の助けによって、人々はより簡単にカレーを作ることができたので、カレーの人気はイギリス中に広まりました。さらに、イギリス人は小麦粉でカレーをより濃くし始めました。彼らはカレーを自分たちの好みに合うように変えるために、伝統的なイギリスの食べ物であるシチューのレシピを用いました。

(Part 3)

イギリスのカレーはのちに船で海を渡って日本にやって来ました。明治時代の初めに、日本人は初めてカレー粉を輸入してカレーを作り始めました。当時、カレーは高価な料理でした。「カレーライス」一皿の値段で、人は8杯のそばを食べることができました。そのうえ、当時、カレーは少し変わっていました。驚いたことに、人々は長ネギ

やカエルの肉をそれに入れたのです！

明治時代の終わりから、カレーは日本中でずっと人気があります。それは日本の軍隊がカレーを兵食として採用したからだと言う人もいます。カレーは大量に作ることができ、一度に多くの兵士たちに出すことができたので、兵士たちには理想的な食べ物でした。兵士たちが帰郷したとき、カレーのレシピを一緒に持っていきました。このため、カレーは日本の多くの地域で人気が出ました。

(Part 4)

カレーの広がりとともに、カレーを基にした多数の新しい食べ物が日本で現れました。例えば、1904 年ごろに日本のレストランがカレーうどんを考案しました。1927 年には、日本のパン屋がカレーの詰まったパンであるカレーパンを売り始めました。その後、カレー風味のスナック菓子も現れました。みなさんはたぶん、それらのいくつかを食べたことがあるでしょう。これらのカレーを基にした全ての食べ物のなかでも、カレールーとレトルトカレーは最も成功しました。これらの食べ物は中国、韓国、アメリカのような国々に輸出されました。今ではレトルトカレーが国際宇宙ステーション (ISS) で食べられています。

カレーはインドで生まれました。その後、イギリスと日本の人たちがカレーを食べ始めました。今では世界中の人々がそれを食べます。

これで私のスピーチは終わりです。ありがとうございました。みなさんは今とてもお腹が空いているだろうと思います。学食に行ってカレーを食べましょう！